

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器外科



私たち医療スタッフは

- I. 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II. 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され、安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



腹腔鏡下胆のう摘出術を 受けられる方へ

さま

主治医

受持ち看護師

2023年6月28日 作成
2026年6月15日 改訂

手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪の装飾（マニキュア、ペディキュア、マグネットネイル、ジェルネイル、スカルプネイルなど）は入院前に落とし、爪は短く切っておいてください
- まつげのエクステーションをされている方は、お知らせください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- 衣類（パジャマタイプ/ゆかたタイプ）
- バスタオル 2～3枚
- フェイスタオル 2～3枚
- ティッシュペーパー 1箱
- 紙おむつ（マジックテープ式） 2枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み
- 水のペットボトル 500ml 1本

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください



<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚
（靴、ねまき、下着などを入れるために使います）

*HCUに入室する方は、タオル、バスタオル、ティッシュペーパーなどご自身の持ち物に氏名をお書きください

※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



手術前の歯科受診について



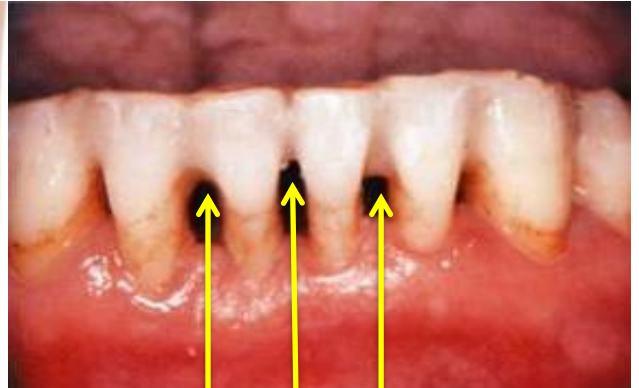
手術時、手術後のトラブルを防ぐために歯科受診が必要です

1. ぐらつきのある歯への対応

→全身麻酔の際、気管にチューブを入れるときに、歯が欠けたり抜けたりすることを予防します



マウスピース作製

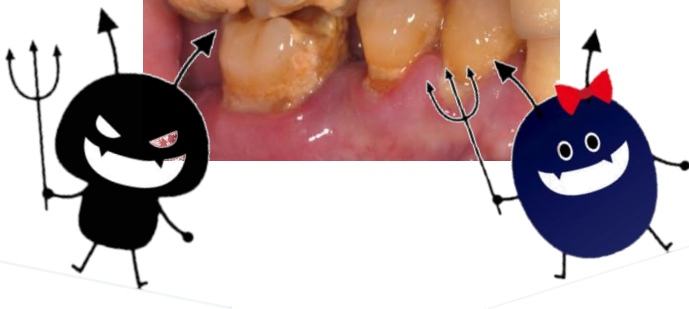


歯と歯の間を接着固定

2. 口の中の清掃（歯石取り、入れ歯のチェック）

→ばい菌が体に悪影響を及ぼすリスクを避けることができます

手入れの行き届いていない口の中



手入れの行き届いていない口の中は
ばい菌でいっぱいです

手術後のトラブルを防ぐためにも「かかりつけ歯科医院」をもつようにしましょう

これまで歯科受診をされていない方は、ご相談ください

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように**患者さんご自身の目標**と**医療スタッフの目標**をあげています

入院は約5日間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・入院生活や手術について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

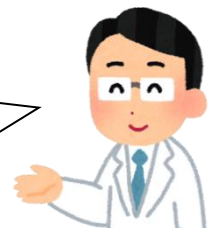
<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食 ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・歯科受診 ・手術前の機能訓練 ・医師より手術の説明があります ・サインをした同意書は看護師にお渡しください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食 <お薬> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか中止するかをお伝えします <食事> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・安心して入院生活を送れるように支援します
- ・手術の準備をすすめられるように支援します



手術前日まで 月 日まで



今日の目標

- 入院生活や手術について医療スタッフの説明が理解できる
- わからなことは質問することができる

<時間>

<予定>

6:00	起床	<活動> • 活動に制限はありません
7:30	朝食	<手術前の準備> • 手術前の機能訓練 • 手術に必要な物品の確認
10:00	検温 血圧測定	
12:00	昼食	<手術前日> • 14時頃に下剤を服用します • おへその掃除や必要時毛そりをします • シャワー浴をしましょう
18:00	夕食	手術室の看護師から説明があります HCU（高度治療室）に入室する場合は HCUの看護師から説明があります
21:30	消灯	• 21時頃に安定剤を服用することができます • 21時以降は絶食です • 手術当日に服用する薬がある場合は、看護師よりお知らせ します



★水分について★

手術の3時間前まで

水やお茶のみ、飲むことができます

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 手術に対する不安がないように支援します
- 手術の準備をすすめられるように支援します



手術前の機能訓練

体を動かすことにより、痰を出しやすく血液循環を良くして傷の治りを早めます
また腸の動きを良くして、ガスを出すなど回復を早めることができます

●深呼吸

- ①仰向けに寝て全身の力を抜きます
- ②鼻から大きく息を吸います
- ③口からゆっくりと息を吐き出します
吸う息より吐く息の方を長めにしましょう



●痰の出し方

- ①傷口を手で押さえる、あるいは脇をしめて
小さな咳を2～3回して、痰を徐々に
上に上げていきます
- ②最後に少し大きな咳をすると楽に痰を出せます

●うがい

うがいをすることにより、口の中を清潔にしましょう
痰も出しやすくなります

- ①寝たままで顔を横に向けて、うがいをします
- ②静かに舌で流しだすようなイメージで水を吐き出します
このとき飲み込まないように注意しましょう



●体の動かし方

麻酔がさめたら、横向きになってみましょう

手術後に体を動かすことは、痛みをともないつらいと思いますが

- (1) 痰を出しやすくする
- (2) 血液循環を良くして傷の治りを早める
- (3) 腸の動きを良くしてガスを出す

など、回復を早めることができますので、積極的にがんばりましょう

—横の向き方—

- ①傷口を片手で押さえ、両膝を立ててお腹の筋肉をゆるめます
- ②腰を浮かせて体を向ける反対側へ腰の位置をずらします
- ③ゆっくりと体を横に向けます



—起き上がり方—

- ①ベッドのリモコンを操作して、ゆっくり90度まで起こします
- ②足をベッドから下ろします
- ③手をベッドについて、ゆっくりと体を起こします



手術前の目標

- ・予定どおりに手術を受けることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:00

検温、血圧測定

医師の指示がある方は少量の水でお薬を服用します

【薬剤名： 】

引き続き絶食です
手術の3時間前まで水分は
とってかまいません

10:00

手術開始が9時以外の方は点滴を行います

手術30分
～1時間前

洗面、歯磨き、トイレを済ませてください

お渡しする**手術衣**に着替えます

手術時に貴金属を身に付けているとやけどをすることがあります
安全に手術を行うために以下のものは、全て外してください

	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

※眼鏡をかけて手術室に行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

検温、血圧測定

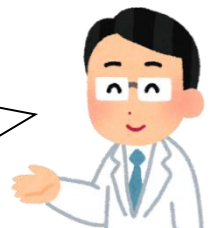
手術
5分前

看護師と一緒に（ 歩行 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー ）で
手術室へ行きます

※貴重品は、ご家族の方が保管してください

医療スタッフの目標

- ・予定どおりに手術が受けられるように支援します



ご家族の方へ

手術当日は手術開始予定時刻の30分前までに病棟にお越しください
手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）
必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします
手術後、主治医から手術の結果について説明があります
他の患者さんの手術の関係で手術後すぐに説明できない場合は、お待ちいただくことをご了承ください

HCU（高度治療室）に入室する患者さんのご家族の方へ

手術が終わりましたら、病棟看護師がHCUへ案内します
手術後HCU前室で医師より手術結果について説明があります
手術当日は来院に30分以上かかる場合は、患者宿泊施設「向日葵」に宿泊をお願いしています
*HCU面会時は、患者さん用エレベーターをご利用ください

病室で付き添いを希望される場合には、医師の許可が必要となりますので看護師にお申し出ください
布団のレンタルを希望される場合は、2階 医療品ショップ「くろ～ば～」でお尋ねください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



手術後の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・吐き気や嘔吐、お腹の張った感じがない
- ・出血がない
- ・38.5℃以上の発熱がない

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、1時間、2時間に行います（これ以外も必要なときに測定します）

酸素吸入、深呼吸

- ・手術5時間後まで酸素吸入を行います（HCU入室の場合は、翌朝まで行います）
- ・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

うがい

- ・ベッドに横になったまま行います（看護師がお手伝いします）
- ・5時間後より飲水ができます
はじめて水分をとるときは、看護師がお手伝いします

活動

- ・5時間はベッド上安静です（HCU入室の場合は、翌朝までベッド上安静です）
- ・ベッドの頭側を少し上げます
- ・足首の屈伸や膝立、腕の運動は痛みがない程度に自分で行いましょう
- ・体を横向きにするときは看護師がお手伝いします

背中（硬膜外麻酔）（状態によっては入らない場合もあります）

- ・背中（硬膜外）に入った管から、痛み止めのお薬が持続的に入ります
- ・痛みが強い場合は、追加で痛み止めを使います
- ・痛みがある場合は、看護師にお知らせください

尿の管

- ・5時間経過し、麻酔が覚めて起き上がることができれば、尿の管を抜いてトイレへ歩いていくことができます（夜間帯やHCU入室の場合は、翌朝尿の管を抜きます）
初回は看護師が付き添います

排液のための管

- ・溜まった血液などを出すために、手術をした部位に管（ドレーン）が入ります

手術後の傷

- ・傷口はガーゼで保護しています

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



手術後の患者さんの様子

心電図モニター

- 手術後の状態を安全に管理します
- HCU入室の場合は、血圧を測定するための点滴の管が動脈に入っています

血圧計

- 適宜測定します

酸素マスク

麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保ちます

酸素濃度測定器

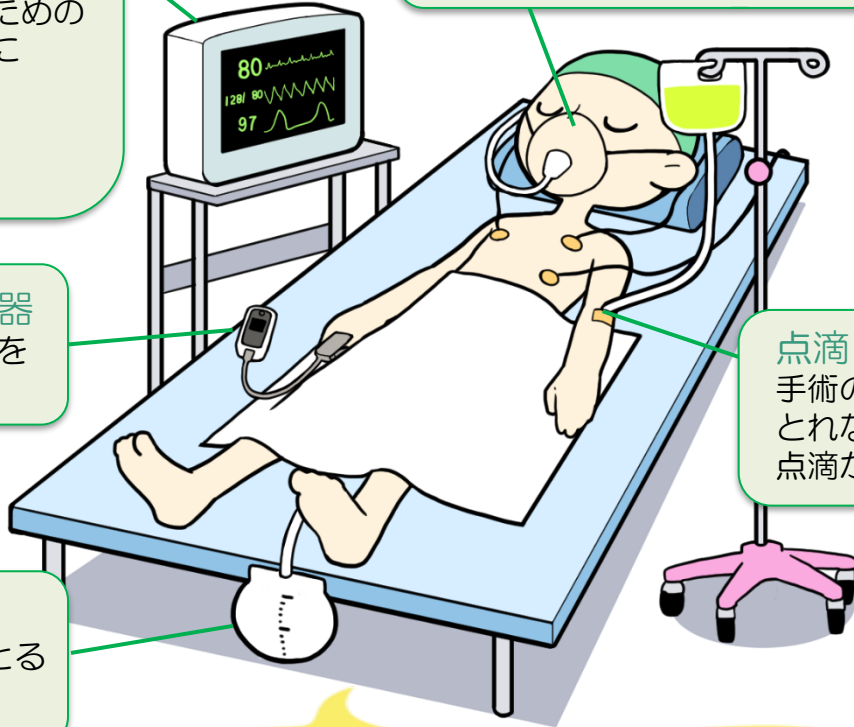
体の酸素の状態を観察します

点滴

手術の後は食事がとれないため、点滴があります

尿の管

手術中に尿をとる管が入ります

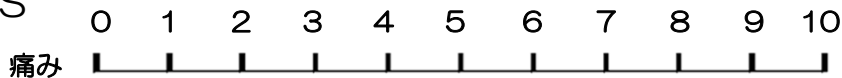


急に動くとチューブ類が抜ける場合があります
体の向きを変えたいときは看護師にお知らせください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

1

2

3

4

5

痛みがない

少しだけ
痛い

もう少し
痛い

もっと
痛い

かなり
痛い

もっとも
痛い

手術後1日目 月 日



今日の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・吐き気やお腹の張った感じがない
- ・ガス（おなら）がでる
- ・出血がない
- ・37.5℃以上の発熱がない

<時間>

<予定>

点滴は本日で終了です

6:00

起床
検温、血圧測定、洗面、歯磨き

7:30

朝食（5分粥）
HCUに入室の場合は、酸素吸入を終了します（7:00～8:00頃）

回診
医師が診察を行い傷口のガーゼを交換します
排液のための管を抜きます
（翌日以降になることもあります）

尿量や排液の計測

10:00

検温、血圧測定
《HCU入室の方》
心電図モニターを外し、尿の管を抜きます
尿の管を抜いた後、初めてトイレへ行くときは、看護師がお手伝いします
10～11時頃、HCUから病棟に戻る予定です
＊時間は前後する場合があります

体を拭き、着替えをします
看護師がお手伝いします
ベッドの横に立ち、部屋の中を歩いてみましょう

12:00

昼食（全粥）

体調に合わせて、病棟内を歩いてみましょう

18:00

夕食（米飯）

19:00

検温、血圧測定

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



手術後2日目 月 日



今日の目標

- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 吐き気やお腹の張った感じがない
- ガス（おなら）がでる
- 出血がない
- 37.5℃以上の発熱がない
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

回診

背中に入っている痛み止めの管を抜きます

10:00

検温、血圧測定

活動に制限はありません
病院内を歩いてみましょう

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう

看護師より、退院後の日常生活について説明があります

18:00

夕食

19:00

検温、血圧測定

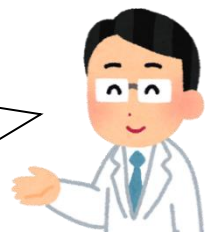
21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます
- 床ずれの予防に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
	回診
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
	シャワー浴をしましょう 散歩をしましょう
	看護師より、退院後の日常生活について説明があります
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院の準備をすすめられるように支援します
- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

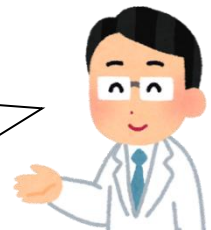
退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します





MEMO

A large, empty rectangular area with rounded corners, outlined in green, intended for writing a memo.



疑問に思ったこと、質問したいことなど・・・
メモ用紙としてご利用ください

退院後の日常生活について

●食事

栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありませんが、
一度にたくさんの量を食べないようにしましょう
薄味を心がけましょう



●排泄

規則的な排便習慣をつけることが大切です
朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう
軽い運動や水分をとるように心がけましょう

便秘気味の方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう
下痢のときは水分（スポーツ飲料など）を十分補給してください
水分を控えることは逆効果です

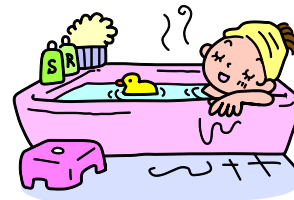
●活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう
長時間の自転車やバイク、自動車の運転は十分に気をつけて、徐々に慣らしていきま
しょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●入浴

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません
今までどおりでかまいません
傷はやさしく石けんで洗ってください



●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 38.0℃以上の熱が続いたとき
- 急激な痛みが出たとき
- 傷やその周りが腫れた、赤くなった、熱くなったとき
- 数日間食事、水分がとれないほど、体調が悪いとき

上記のような症状がある場合やご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



腹腔鏡下胆のう摘出術を受けられる方へ